

// 会社の概要 (2019年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 137名 (グループ全体425名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2019年5月31日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
取締役常務執行役員 阪 口 則 之
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦
取締役常務執行役員 池 谷 壽 繁
取締役執行役員 井 上 賢 志
社外取締役 宮 本 康 廣
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 山 岸 利 光
執行役員 于 勇
執行役員 山 根 清 秋
執行役員 野 上 彰

// 株式の状況 (2019年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 6,678名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,103,100	6.52
竹内正明	915,000	5.41
野村信託銀行株式会社 (投信口)	514,200	3.04
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	2.99
関西チューブ株式会社	485,000	2.87
共同印刷株式会社	432,900	2.56
株式会社アルミネ	391,000	2.31
村永八千代	382,076	2.26
由利和久	350,276	2.07
有賀洋	339,600	2.01

(注) 1. 当社は、自己株式2,434,238株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式2,434,238株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日 (中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

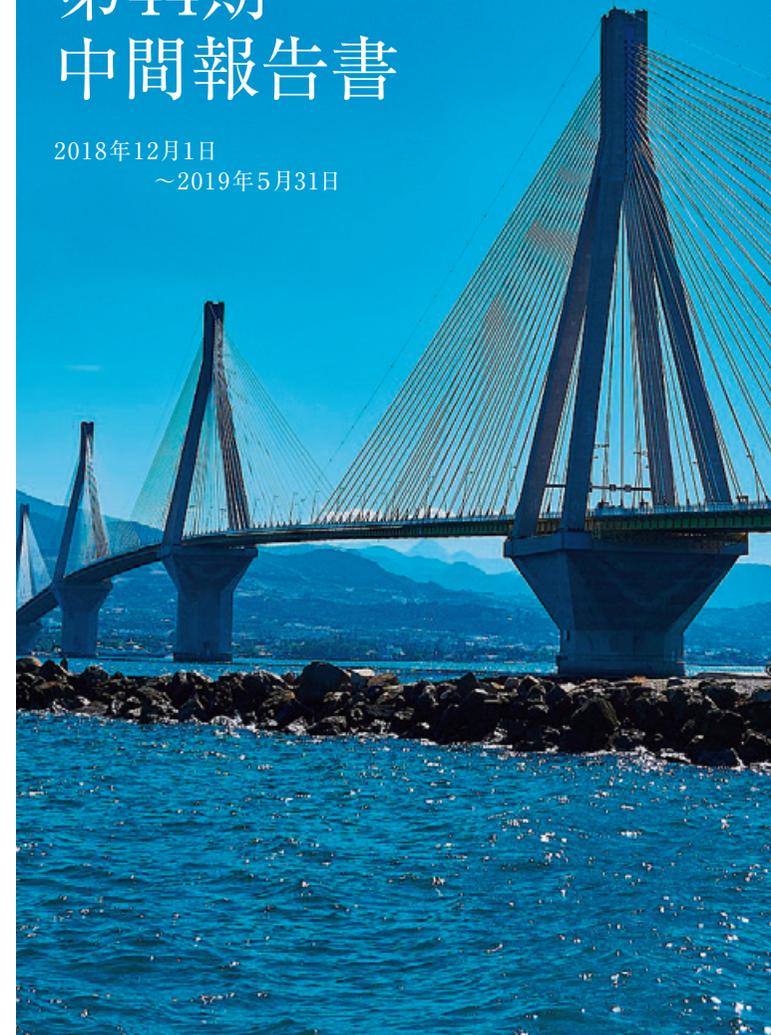
公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第44期 中間報告書

2018年12月1日
～2019年5月31日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第44期第2四半期連結累計期間（2018年12月1日から2019年5月31日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2018年12月1日～2019年5月31日）におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さが見られるものの、各種の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、米中貿易摩擦をはじめとする通商問題や長期化する英国のEU離脱問題等、引き続き経済全般に不透明感が残る状況で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループは、2017年1月に策定した2021年11月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けて、商社事業においては、収益機会の拡大、収益力の更なる向上および持続的成長を実現する人材・組織力の強化に取り組んでまいりました。また、プリフォーム事業においては、主要市場である中国の経済成長鈍化や原材料価格の変動リスク等が高まる中で、グループ横断的な品質維持向上活動を行うことで収益力の更なる向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,267百万円（前年同四半期比1.8%増）となり、営業利益216百万円（前年同四半期比32.6%減）、経常利益230百万円（前年同四半期比35.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円（前年同四半期比35.9%減）となりました。（セグメント別）

商社事業につきましては、印刷包装関連機械等の販売が減少し、前年同四半期に比べ減収減益となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,309百万円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益は282百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

プリフォーム事業につきましては、前年同四半期に比べ増収となったものの、製造コスト上昇の販売価格への転嫁の遅れや物流コストの増加等により損失となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,978百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント損失は395千円（前年同四半期は83百万円の利益）となりました。



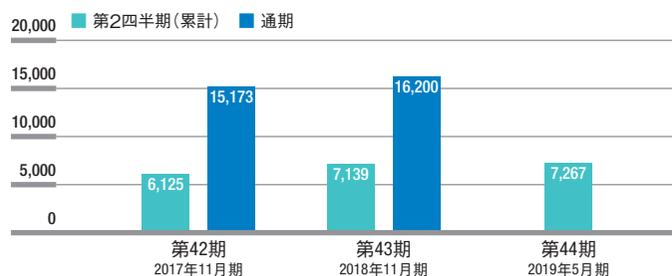
2019年8月
代表取締役社長

張能 徳博

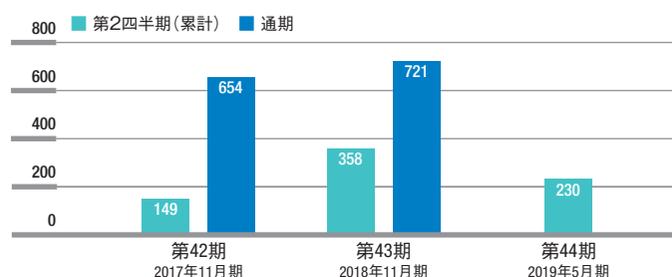
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

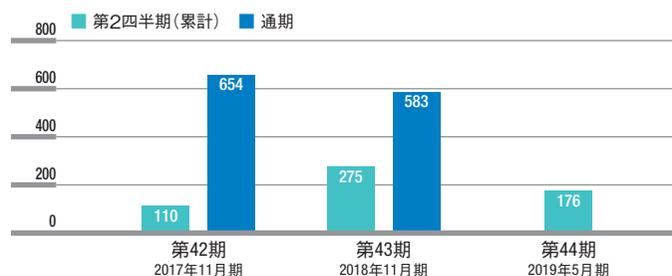
売上高（単位：百万円）



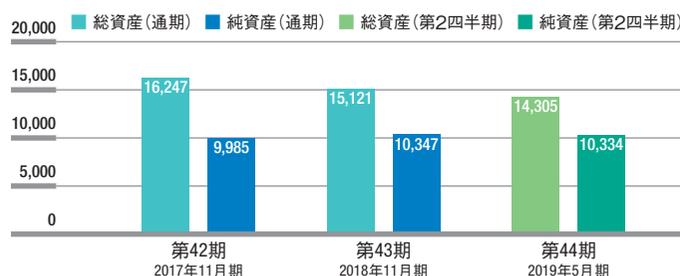
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

“さまざまな業界で採用されている 注目の超音波スプレー”

近年、超音波スプレーコーティングの技術の進化とともに、薄膜や細線などのコーティング需要が増えてきており、自動車、医療およびエレクトロニクス関連分野で幅広く使用されてきています。

Sono-Tek社は長年にわたり、超音波スプレーでのコーティング技術をリードしてきたメーカーです。Sono-Tek社製超音波スプレーは、液滴のサイズ、スプレー量および膜厚など目的に応じて数種類のノズルが選択可能です。絶縁膜や導電膜、フォトレジスト、ハードコートや反射防止、撥水、撥油など、さまざまな機能性膜の塗布・塗装に役立ちます。

Sono-Tek社製超音波スプレーは、一般的な加圧スプレー、ディップまたはスピコート方式と異なり、跳ね返りや飛散が一切なく圧倒的に収率が良いため、材料の無駄を最小限に抑えることができます。また、超音波振動により一粒が小さいだけでなく形も均一な液滴を均等にスプレーすることで、良質なコーティングが実現可能です。当社は、蒸着、スパッタまたはCVDといった成膜方式と比べても、大掛かりな設備や特殊な環境を必要としないSono-Tek社製超音波スプレーの有用性に着目し、広く国内のお客様へご採用いただいております。



“想像を現実にする3Dプリンタ” さまざまな要望に対応する充実のラインナップ

当社は、ヒーティングノズルを制御して積層するFDM方式およびインクジェットヘッドによるプリント構造のPolyjet方式を利用したStratasys社製3Dプリンタ、従来の3Dプリンタでは対応できなかった大型のモデルを高速造形するMassivit社製3Dプリンタ、

コストパフォーマンスに優れたDesktop Metal社製金属3Dプリンタ、パーソナルユースのMakerBot社製3Dプリンタを取り扱っています。3Dプリンタの販売・造形サービス・レンタルサービスを3本の柱として、お客様が求めるさまざまなご要望に対応いたします。



大型モデル高速3Dプリンタ

コストパフォーマンスに優れたDesktop Metal社製金属3Dプリンタ、パーソナルユースのMakerBot社製3Dプリンタを取り扱っています。3Dプリンタの販売・造形サービス・レンタルサービスを3本の柱として、お客様が求めるさまざまなご要望に対応いたします。

デスクトップ金属3Dプリンタ

パーソナル3Dプリンタ



MASSIVIT 3D



Desktop Metal



MakerBot